

2018年12月5日

副学長 竹尾 茂樹

「2017年度 明治学院大学外部評価委員会の提言」および
「2017年度外部評価委員会の提言について（回答）」の公表にあたって

明治学院大学では、自己点検・評価の妥当性と客観性を高めるため、高い見識を有し、本学の設置目的に理解のある学識経験者等で構成する外部評価委員会を2008年度より設置しており、2017年度は10回目の外部評価委員会として2017年10月26日に開催しました。

現在、本学では、第三期大学評価に向け、或いは中教審答申等で示される指針や社会からの要請に応じるべく、教学改革に取り組んでおります。その際に土台となるのは言うまでもなく、建学の精神であり、教育の理念目的、そして、ディプロマポリシー（学位授与の方針）、「カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）」、「アドミッションポリシー（入学者の受け入れ方針）」の所謂「3つのポリシー」であると考えております。こうした方針が適切に定められ、学生、教職員に浸透していなければ、適切な教育はなしえないからです。

本学では、2008年12月の文科省中教審答申を受け、学部学科・研究科専攻の「3つのポリシー」を策定し、その後2016年3月末発布の「学校教育法施行規則の一部を改正する省令」に従い、2017年3月、大学全体にあらたに「3つのポリシー」を定めると同時に、これと整合するべく、各学部学科・各研究科専攻の「3つのポリシー」の改訂を行いました。

策定・改訂作業にあたっては、中教審大学教育部会策定のガイドラインをもとに見直しを行いました。また改善の余地が見られます。特にこれらが文部科学省および第三期の大学認証評価が求める、所謂「教育のPDCA」を機能させるに適切十分な内容か、或いは、各ステークホルダーへの訴求力が十分かどうかについては、今後、更なる検証が必要になると認識しております。

そこで2017年度の外部評価委員会では、各委員の立場からご意見やご指導をいただき、今後の検討の手がかりとさせていただくことといたしました。当日は活発な議論が行われ、本学にとって学びの多い機会となりました。

この度公開いたしました「2017年度明治学院大学外部評価委員会の提言」は、議論の結果を大野高裕委員長（早稲田大学 理工学術院教授）が提言として取りまとめ、本学に提出されたものです。また、提言の文中に提示されております数々の指摘については、学長の下、大学執行部会議や学部長会等の場において議論を重ね、その結果を「2017年度外部評価委員会の提言について（回答）」としてまとめました。

回答に記しました内容について、できるだけ早い時期の改善・実現に至るよう努めてまいります。学内外の関係者の皆様にもご承知おきいただければ幸いです。

以上